

対馬暖流は本道沖合を北上 対馬暖流の流量は平年の6割増し 今後の沿岸水温は平年よりも高めで推移

2021年9月下旬に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、松前沖では沿岸寄りを流れていますが、岩内湾沖に暖水渦と冷水渦が分布しているため、暖水渦の西側を通るかなり沖合のルートを取り北上しています（図1c）。対馬暖流の北上流量は約1.6Sv（1Sv=10⁶m³/s）で、例年の6割増となっています（10月流量の平年値は1.0Sv）。

50m深水温は、暖水渦が分布する沖合の海域で16～20℃となっており（図1a）、平年よりも5～8℃高くなっています（図1b）。一方、沿岸よりでは、平年よりも水温の低い海域が多くみられ、特に冷水渦が分布する岩内沖では、平年よりも3～4℃低くなっています（図1b）。

余市前浜水温は9月下旬では「平年並み」ですが（※1）、10月中旬から11月上旬の気温は平年よりも高い予報となっていますので（※2）、沿岸水温は「平年並み」よりも高めで推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyau/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

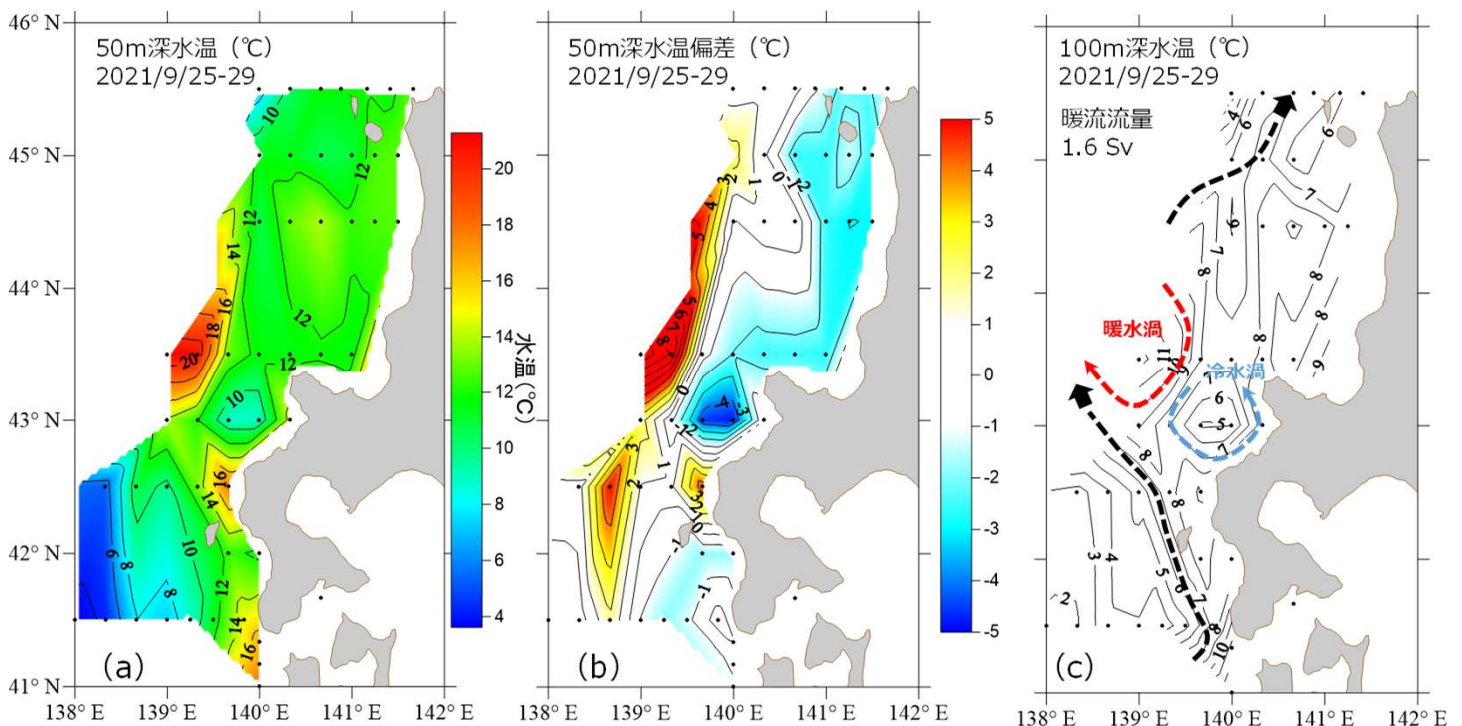


図1 2021年9月下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。